

「教育の共有」



樋田千史教育委員

研究発表会を抱える学校があれば、校内で授業研究を重ねている学校もあります。共有していえることは、どの授業にも学習指導案を作成し、授業に臨んでいるということです。この指導案を作成するのに日々の実践はもとより当日の授業展開を構想し、子どもの動きや教員の動きなど細部にわたって練り上げてみえることでしょう。そのための労力はかなりのものとなっていることでしょう。こうして出来上がった指導案は一つの宝物といえます。これを当日だけ、当事者だけにとどめておくのは、いかにも「もったいない」

気がします。そこで教育委員会の会議の中で、提案をしました。これらの指導案を他の教員に共有してもらい、それを実践してみるということです。他人が作成したものをまねてみる。そして、修正点があれば自分なりにアレンジしていく。そんな機会を作り出すことはできないだろうか。例えば新規採用教員の研究に取り入れるとか。

恵那市内ではICT教育を盛んに進めています。一人一台のタブレットが貸与されています。子どもたちの慣れや進化は目を見張るものがあります。教員も活用方法を研究し、日々実践に生かしてみえます。どのような教材をどのように理解させていくか、そのためのタブレットはどのように使うか。考えればきりが無いほど方途があります。教員自身にも得手不得手な部分があると思います。悩みが増えていくことがあるかもしれません。そんなときは、「聞く」に限ります。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」と言われます。恵那市のすべての教員がタブレットを使った授業を展開し、子どもたちに力を付けてもらいたいと思います。子どもたちが大人になって「社会の中で逞しく生きていく力」を付けるためにも、今この時期を大切にしたいと思います。

一人で抱え込まないで共有できることは共有していく、そんな環境を整えたいと思っています。

地元の食材で、おいしい給食

(恵那市学校給食センター)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、県内産の食材の消費が落ち込んだため、生産者の支援とPRを兼ねて、飛騨牛や鮎、更紗ますなどの食材を使った給食が提供されました。

この事業は、県の補助を受けて実施されたもので、12月3日(木)の献立は、鮎のから揚げ、ほうれん草のお浸し、関東煮に麦ごはんと牛乳でした。鮎といえば塩焼のイメージが強いのですが、から揚げは鮎のおいしさがギュッと詰まったメニューで、子どもたちもおいしくいただきました。



12月3日の献立

交流の場として生まれ変わった大井行在所

(生涯学習課)

中山道明治天皇大井行在所は、全国で46番目の中山道大井宿の中でも大規模な旅籠だった建物で、建築資材などの商いも営んでいました。

江戸時代の終わりごろには屋号を「いけだ屋」とし、当主の伊藤弥兵衛が大井村の庄屋や宿場の役人を務めていました。明治に入ってから村会議員となり、学校建設にも尽力しました。明治13(1880)年6月に明治天皇が御巡幸の折、伊藤家に泊ることとなり、急きょ隣を譲り受け、三間続きの部屋や風呂、畳敷きの便所を新設しました。

明治42(1909)年、家の所有者が岩井家へと変わり、第二次世界大戦後は、主屋の一部を郵便局の分室や学習塾として利用し、その都度改築されました。その後、平成27(2015)年に市が寄付を受け、令和元年(2019)に市文化財に指定されました。このたびの貴重な歴史遺産を保存活用するため2カ年にわたり進めてきた大規模修理と改修が完成し、4月から一般公開することになりました。

明治天皇が宿泊した御座所は当時の状態に復原され、壁天井には和紙が張られ純白の部屋を見ることができます。また、交流スペースを設け、市民の皆さんが利用できる交流の場として生まれ変わりました。古屋家にあった江戸時代初期の建築とされる市指定文化財長屋門も、行在所の横に移築され、飾り金具の豊富な壮麗な門と一緒に観覧いただけます。

このような文化財を活用しながら、今後も恵那市の魅力として発信していきたいと思います。



復原された御座所

国体スピードスケート競技会で地元選手が大活躍

(スポーツ課)



地元恵那の選手

令和3年1月27日(水曜日)から31日(日曜日)、岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場で第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会(スピード)が「銀嶺にきらめく夢は無限大」のスローガンの下、開催されました。岐阜県の選手たちの熱い思いや夢が伝わってくる競技会となり、多くの感動ストーリーを残し、盛会のうちに幕を閉じました。

コロナ感染拡大に伴ない無観客による開催となりましたが、「国体チャンネル」で開始式および全レースのライブ配信を行い、整氷時には市内小中学校からの応援メッセージ動画も配信し、魅力を地域の方々に発信しました。また、小中学生が制作した手描きの応援のぼり旗により温かく選手たちをお迎えしました。

競技会は、岐阜県選手の活躍によりスピードスケートのみでは天皇杯4位と好成績を収めることができ、市民のスポーツへの関心を高め、夢と感動を創出する素晴らしい大会となりました。



選手と小学生をリモートで繋ぐ